

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年03月10日

計画の名称	盛岡市における安心で安全な都市公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	盛岡市												
計画の目標	防災公園の用地取得率を向上させ、避難面積を拡充し防災機能を強化する。 公園施設長寿命化計画に基づき計画的な遊戯施設の改築を実施し、都市公園の適正な管理による公園利用者の安全・安心の確保や、公園施設に係るトータルコストの低減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,350	A	1,350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26末)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	中央公園の用地取得率の向上を目指す。96.0% 100.0% 中央公園の用地取得率の向上を目指す。 事業執行後における買収面積を集計し、事業認可面積に対する用地取得率を次式より算定する。算定式 = 累計用地取得面積 / 事業認可面積	96%	%	100%
2	高松公園の用地取得率の向上を目指す。83.5% 86.8% 高松公園の用地取得率の向上を目指す。 事業執行後における買収面積を集計し、事業認可面積に対する用地取得率を次式より算定する。算定式 = 累計用地取得面積 / 事業認可面積	84%	%	87%
3	公園施設長寿命化計画に基づき、平成31年度までに改築が計画されている遊戯施設170基のうち138基の改築を行い、長寿命化計画達成率81.1%を目指す。 公園施設長寿命化計画に基づく遊戯施設の改築率の向上を目指す。 長寿命化計画に基づく改築が行われた遊戯施設数を集計し、改築が必要な遊戯施設数に対する計画達成率を次式により算定する。算定式 = 累計改築済み遊戯施設数 / 平成31年度までに改築が必要な遊具数	0%	%	81%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	都市公園事業(中央公園)	計画面積 A=28.6ha	盛岡市						680	-	
	A12-002	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	都市公園事業(高松公園)	計画面積 A=44.3ha	盛岡市						370	-	
	A12-003	公園	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	盛岡市公園施設長寿命化 対策支援事業	遊戯施設改築 138基	盛岡市						300	策定済	
											小計						1,350		
											合計						1,350		

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:盛岡市における安心して安全な都市公園づくり(防災・安全) 都道府県名:岩手県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)計画の目標が盛岡市総合計画に適合している。	○
2)計画の目標が盛岡市緑の基本計画に適合している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1)定量的指標が計画の目標に適合している。	○
②定量的指標の明瞭性	
1)定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
③目標と事業内容の整合性	
1)計画の目標と定量的指標・定量的指標の目標値の整合性が確保されている。	○
2)定量的指標・定量的指標の目標値と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)計画の目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)定量的指標・定量的指標の目標値が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)計画の目標に対して十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施の確実性が高い。	○
②地元の機運	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○